



町長にメッセージ伝達する保護司の皆さん



保護司会からのメッセージ伝達

7月4日(月)、錦江町保護司会の6名が内閣総理大臣から「社会を明るくする運動」のメッセージを町に伝達されました。メッセージは、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、地域で力を合わせて犯罪のない地域社会を築こうとする運動への協力を求める内容となっています。

また、4月29日に小牧直子さん(馬場自治会)が長年の保護司の活動が認められ、瑞宝双光章を授与されました。



宿利原サマーキャンプ

宿利原小学校が月1回の土曜授業の放課後に行っている寺子屋塾の一環で、児童10名が学校に宿泊するキャンプを8月19日(金)～21日(日)の2泊3日で行いました。

今回は、鹿児島大学や東京農業大学の学生ら10名も一緒にキャンプに参加しました。

初日は足踏み脱穀の作業や唐箕とうみを使った藁くずと米の分別作業を大学生と一緒に行いました。夜には教室に畳をして眠るなど、いつもとは少し違う学校の雰囲気ふういきに児童も「ドキドキする」「楽しい」と話していました。



大学生と協力して足踏み式脱穀機を踏む児童



やまんなか音楽会を開催

8月5日、6日で第8回やまんなか音楽会を開催しました。

今年は、前日までの雨も少なく川の流れを土のうでせき止め3年ぶりに石畳の上に舞台を組み、音楽会を開催することができました。昨年度より多い約5千人が来場しました。準備にも多くの方が携わり、スポーツ少年団や田代中学校の生徒たちは点灯作業を、また田代地区の4つの建設業者は灯籠の制作・設置を行いました。

舞台では、今年4月から活動している赤狩山一寿さん(笹原自治会)と大仲原翔吾さん(南大隅町)の二人組デュオの「G&S」や柴立正芳さん(栄町自治会)が参加する鹿児島県神社庁肝付地区雅楽同好会が演奏を行いました。ゲストとして最後に登場したカサリンチュは、美しい歌声を披露しました。

